



日吉台小学校区 “地区防災計画作成モデル創出事業”に選出 ～～ 地域の実情にあわせてみんなで作る防災計画 ～～



日吉台小学校区のこれまでの活動実績や防災への取組体制等が認められ、内閣府の地区防災計画作成モデル創出事業に、県内で3地区目、市内では初めて選出されました。今後、内閣府から派遣されるアドバイザーなどの助言を受け、日吉台小学校区防災連合会を中心としたワークショップ等を開催するなど、令和6年度内に地区防災計画を作成し、地域防災の要となる「共助」の更なる強化を図ります。

<日吉台小学校区紹介>

- 日吉台小学校区は、市内北部に位置し、人口の約 1/5 を占める住宅街です。成田市との東側境界に1級河川の根木名川があり、学区内には土砂災害(特別)警戒区域が数か所あるものの、東日本大震災以降は、幸い大きな被害は発生していません。
- 同学区は、市内でも非常に自主防災意識が高い地域であり、日吉台小学校区防災連合会を中心に、地区を構成する9自治会や地区社協、学校、PTA、商店会などがお互いに連携しながら、防災訓練や防災フェスタなどを実施しています。
[学区内基礎データ]令和6年3月末現在
●人口:10,268人 ●世帯数:5,571世帯

地区防災計画とは・・・

東日本大震災において、自助・共助・公助がかみ合わなければ、大規模広域災害後の災害対策がうまく働かないことが強く認識されました。

その教訓を踏まえ、平成25年に改正された災害対策基本法では、自助及び共助に関する規定が追加され、地域コミュニティにおける共助による防災活動の推進の観点から、市町村内の一定の地区の居住者及び事業者(地区居住者等)が行う自発的な防災活動に関する「地区防災計画制度」が新たに創設されました。

このようなことから、地区防災計画は都市部や農村部などの地域特性や、地形などの自然特性等に応じて想定される災害が異なることなど、その地区の居住者等が主体となって作成することで地区居住者の意向を強く反映することが可能なボトムアップ型の計画となっています。

地区防災計画作成モデル事業とは・・・

内閣府では、地域の防災力を高める手法として有効な「地区防災計画」の策定を推進することを目的に平成26年度から実施されています。これまで全国90地区でモデル計画が作成され、令和6年度は全国で4地区が選出されています。

問合せ先
担 当 総務部防災課防災危機管理班
担 当 者 木村
電 話 0476-93-1114 【直通】
F A X 0476-93-7810
メー ル bousai@city.tomisato.lg.jp

